

キャラクター名
ヒース・ハーヴェイ(Heath Harvey)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ウロボロス		ワークス	組織の地区ボス (何でも屋)	カヴァー	ストリートチルドレン
	オルクス		年齢	10+6+4歳前後	性別	男
オプション	覚醒	死	衝動	自傷	初期侵食率	40 %
出自	天涯孤独		経験	危険な仕事	邂逅	雇い主

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	75
肉体	3	1	0			4	行動値	4
感覚	2		0			2	(非装備時)	6
精神	2		0			2	戦闘移動	11
社会	1		0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志	6	1	調達	9	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 裏社会	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハードケース(クリスタルシールド)	白兵	4r	13	0		常備化。買い換えて新品になった

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UGNボディーアーマー[装備中]	購入12	8	0	0	装甲8
※ハードコート[装備中]	購入9	2	0	-2	装甲2、行動-2

所持品	
フォーマル	
カジュアル	
ナイフ(思い出の品)	
応急キット[未購入]	
解毒剤[未購入]	
強化素材(ハードケースに使用)[装備中]	
パープルテンプター[購入済み]	

合計装甲: 10 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 屍人	P	N		
仲間	P 庇護	N 恐怖		
ルシール	P 憧憬	N 食傷		
東洋人の男	P 執着	N 脅威		
アメリカ	P 信用	N 不安		
ヴレーデ	P 信頼	N 隔意		
現在	P 尽力	N 嫌気		

最大財産P: 20 残り財産P: 2-購入1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
異形の刻印/10	9	基本+3	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最大HP+[Lv*5]、侵蝕率Lvupなし								
異形の守り/1	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 重症でも使用可。暴走以外のBS1つ回復								
スプリングシールド/3	2	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: そのガード間、ガード値+10。シーンLv回								
崩れずの群れ/1	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバー。行動済みにならないテンプレ。メインプロセス1回								
命のカーテン/3	2	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 10mまでカバー可。シナリオLv回								
守護者の巨壁/1	1	6	オート	視界	効果	自動	-	
効果: 攻撃対象を単体、自分ひとりに変更。シナリオ1回								
原初の赤:狂戦士/3	1	5+1	メジャー	視界	単体	RC	80%	
効果: 次のメジャーアクションC値-1、判定ダイス+[Lv*2]個								
領域の加護/3	1	2	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果: 次のメジャーアクション攻撃力+[Lv*2]								
要の陣形/3	2	3	メジャー	-	3体	シンドローム	-	
効果: 対象を3体に変更。シナリオLv回								
原初の黄:不死者の恩寵/3	2	5/基本+3	クリナップ	至近	自身	自動	-	
効果: HP[(Lv+2)D+【肉体】]点回復。戦闘外は1シーン1回								
カンピュセスの籤/5	2	2	メジャー	至近	単体	RC	-	
効果: HP[(Lv)D+【肉体】]点回復。自身不可								
生体侵入	★	4	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果: 戦闘不能・意識のない対象の中に侵入								
猫の道	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 近道を形成する								

一話ロイス: [仲間]庇護/恐怖、[ジャック]感服/脅威→有為/憤懣、[ドロシー・レイン]有為/嫉妬、
[エマ・シァリエ]雇い主/猜疑心、[ルシール]庇護/嫌気、[アーロン]有為/不快感、
二話ロイス: [仲間]庇護/恐怖、[エマ・シァリエ]雇い主/猜疑心(昇華)、[ブラッド・ブロック]執着/脅威、
[ルシール]憧憬/食傷、[アメリカ]親近感/嫌気(昇華)、[エイラ]同感/隔意(昇華)、
三話ロイス: [仲間]庇護/恐怖、[ルシール]憧憬/食傷、[東洋人の男]執着/脅威、
[アメリカ]信用/不安、[ヴレーデ]信頼/隔意、[現在]尽力/嫌気、

■~1916年
"ブラッド・ブロック"の生産がされなくなったからと言って、出回った分はどうなったかわからない。
あれによって他にも力を持った馬鹿がいらないとは限らない。そうでなくても気が抜けない。
力を持った馬鹿からだって、単なるナイフや、銃だって俺以外には十分脅威だ。
だから仲間を守る。その為ならいくらでも仲間の盾になれる。
ただ、それだけではいつか限界がくる。守るだけじゃ、俺たちの抵抗じゃどうにもならない時が。
足掻いても、どうにもならなくても、それでも俺たちにとっての日常は過ぎていく。

■~1912年
突然与えられた地区ボスという役目に戸惑ったものの、エマの「しっかりね」という言葉もあってその役目を受け入れた。
上から回される仕事に仲間たちと四苦八苦しなながら共にこなし、ボスやチームとしての信頼を得て基盤を固めた。
空いた時間はジェイミーに一般教養を教わり、仕事でよく組むオリヴィアとオリヴァーの遊びに引きずりまわされ、
チャーリーの知人と顔合わせをしボスとしての知名度を広げ、見込みのあるストルを仲間引き入れ教育をした。
6年間そんなこんなで忙しかったが、小さな場も手に入れ、生活水準も安定するようになった。

